

令和2年度 北九州地域産業人材育成フォーラム地域連携型インターンシップ
研修型（短期）インターンシップ
実施後アンケート 集計結果

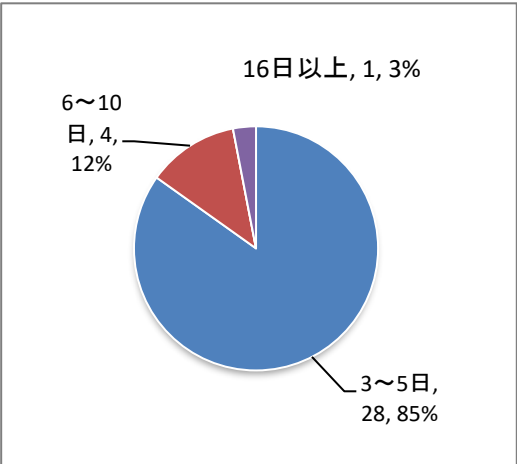
【学生版】

北九州地域産業人材育成フォーラム
2020年12月

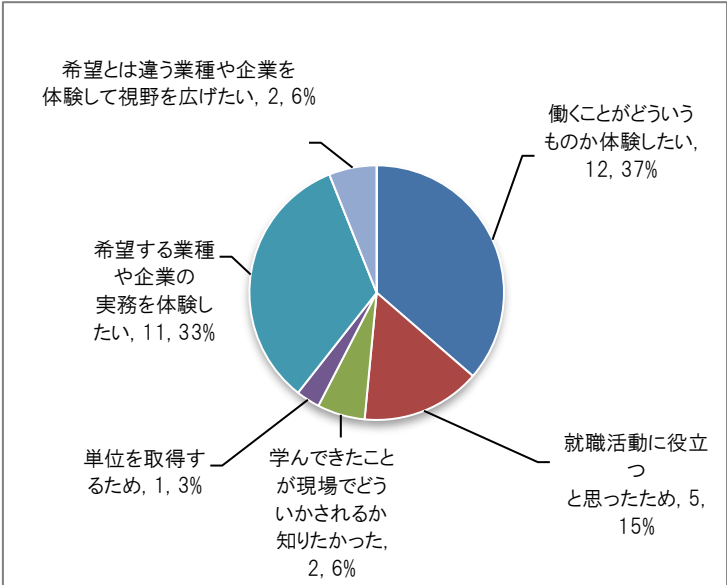
1. アンケート概要

実施期間 2020年8月～11月
対象者 R2年度産業人材育成フォーラム研修型(短期)インターンシップ参加学生 36名
回答数 33名 (回収率 91.7%)

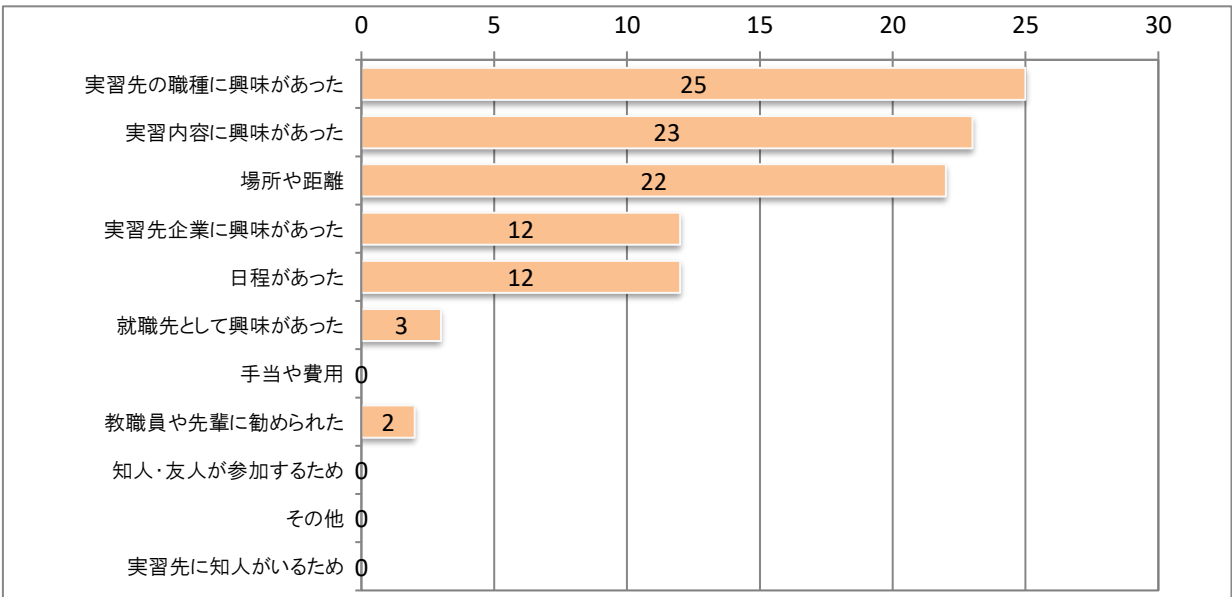
2. 実習日数（実働日数）について



3. 参加動機について



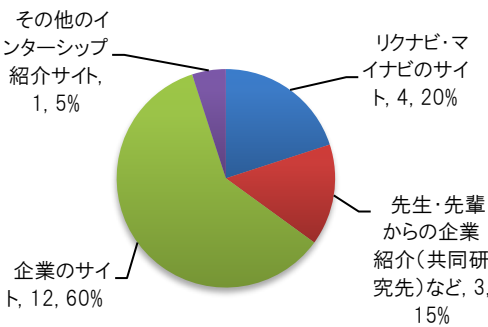
4. 実習先を決めた理由は何ですか（優先順位3つまで回答） (人)



5. インターシップ参加のための情報収集（企業検索等）は、どのように行いましたか。

(人)	
産業人材育成フォーラムのサイトのみ	16
産業人材育成フォーラムのサイト未使用または他の方法を併用	14

産業人材育成フォーラムのサイト以外の情報収集先



6. 問5の収集方法（利用サイト等）で使用した理由を回答欄に記入して下さい。

● 産業人材育成フォーラムのサイト

- ・ 大学院に進学するため、三年次に地元の企業でインターンシップに参加することでインターンシップの流れなどを把握しておきたかったから
- ・ 大学の紹介があったから
- ・ 通しやすい企業が多かったため
- ・ インターンシップの内容を知りたかったため
- ・ 初めてのインターンシップだったので、近くの北九州の企業の募集から選びたかったから
- ・ 北九州という地域で限定して探せて効率が良かったから
- ・ コロナの影響もあり、インターンシップは地元である北九州の企業に参加しようと考えていたため
- ・ 地元が北九州ということもあり、まずは近場のインターンシップで実体験をしようと考えたから
- ・ 北九州でのインターンシップを探すにおいて情報がまとめられていたこと
- ・ インターンシップセミナーで紹介されていたため
- ・ 新型コロナウイルス感染症への懸念があり、大学と実家のある北九州市内でインターンシップ参加したいから
- ・ 前のインターンシップでも、使いやすくていいサイトや斡旋場所だと思ったから
- ・ ここで日程の合う企業を探したためです。また、学校を通して応募でき、安心できたからです
- ・ 提出物等の情報がまとめられていたため
- ・ 地元企業の中から選びたかったから
- ・ 大学から紹介されたため
- ・ 九州地域でのインターンを紹介しているため近場であったから
- ・ 企業概要や研修内容が分かりやすくまとめられていた
- ・ コロナウイルス感染拡大によって、地域の企業のインターンシップに参加したいと思い、利用した
- ・ 大学の学務課からのメールでインターンシップ参加について知りメールにURLが添付されていたから
- ・ 将来北九州での就職も視野に入れているので、見つけやすいと思った
- ・ 元々どこかの企業のインターンシップに行きたいと考えていた時、大学から来たインターンシップ関連のメールで見つけたため
- ・ 大学から紹介のメールを頂いたから
- ・ 学校から産業人材育成フォーラムの募集メールが来たため。
- ・ 様々な業種の企業が掲示されていたため
- ・ 地元の企業でのインターンシップに参加したかったから
- ・ 大学からのメールで紹介されていたため
- ・ インターンシップの企業概要、研修内容が分かりやすくまとめられていたから

● リクナビ・マイナビのサイト

- ・ 全国の大学生が利用しているサイトであることから、数多くのインターンシップの情報を得られるかもしれないと考えたから
- ・ 掲載されている企業の数が多いから
- ・ 登録を行うとインターンの情報などがサイト側から送られてくるから
- ・ 多くの企業のインターンシップ情報があるため

● 先生・先輩からの企業紹介（共同研究先）など

- ・ 自分ではなかなか分からないことが多かったため、アドバイスをもらえた。
- ・ 大学から紹介されたインターンシップ先の候補から選んだ

● 企業のサイト

- ・ 会社概要を知りたかったため
- ・ 興味を持った企業の詳細が分かるから
- ・ 企業を選ぶ際に、どのような企業なのかを詳しく調べるために用いた
- ・ オフィスの住所やサービスなど基本的な情報を入手するため
- ・ 企業について、フォーラムのサイトには載っていない情報を得るため
- ・ 企業を知るために適したサイトであると思ったためです
- ・ 自分の興味のある企業のインターンについて情報を得る手段として確実だから
- ・ 下調べの際に検索した
- ・ インターンシップ受け入れ企業の一覧を見て会社のホームページやSNSを見て雰囲気や事業を知るため
- ・ インターンシップ当日までにサイトを見ておくように促されたから
- ・ どのような企業なのかを調べるため
- ・ 企業の事業内容が明確に書かれていたから

7. 今年参加したインターシップの企業は何社ですか？

(人)

1社	2社	3社以上
29	4	0

8. どのサイトから企業に応募し、実際にインターシップに参加しましたか？

(人)

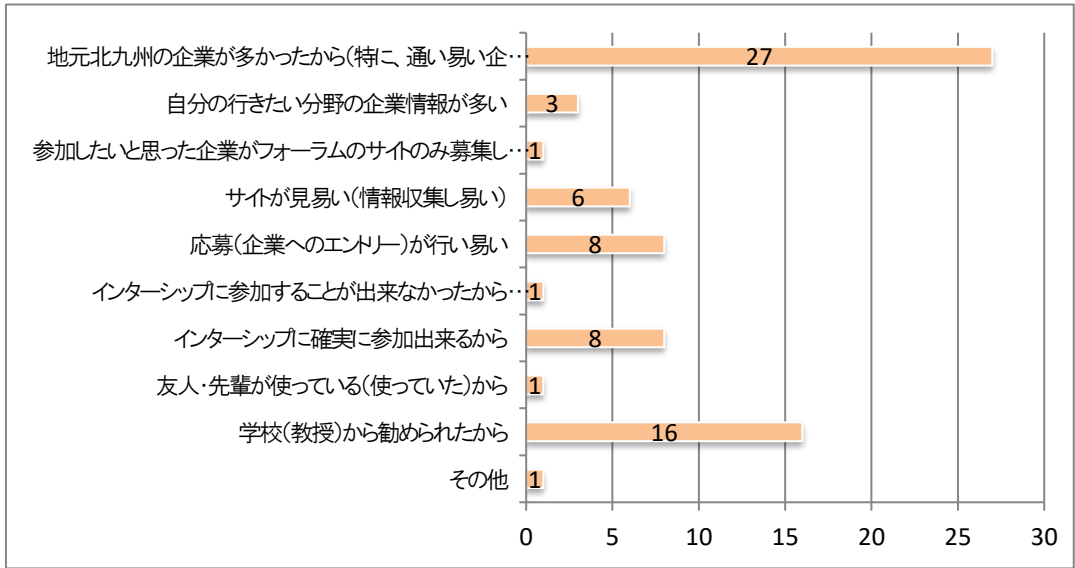
①産業人材育成フォーラムのサイト	29
②リクナビ・マイナビのサイト	4
③先生・先輩からの企業紹介（共同研究先）など	0
④企業のサイト	0
⑤その他のインターシップ紹介サイト	0

9. （問8で②リクナビ・マイナビのサイトから応募・参加した方に質問）
利用して①フォーラムよりも良いと感じたポイントはなんですか。

(人)

フォーラムより、地元北九州の企業情報が多い	0
フォーラムより、自分の行きたい分野の企業情報が多い	0
インターシップに参加したいと思っていた企業が使用したもののみで募集していた（フォーラムになかった）	3
フォーラムより、サイトが見易い（情報収集し易い）	1
フォーラムより、応募（企業へのエントリー）が行い易い	1
フォーラムの実施しているインターシップは知らなかった（フォーラムを知らなかった）	0
その他	0

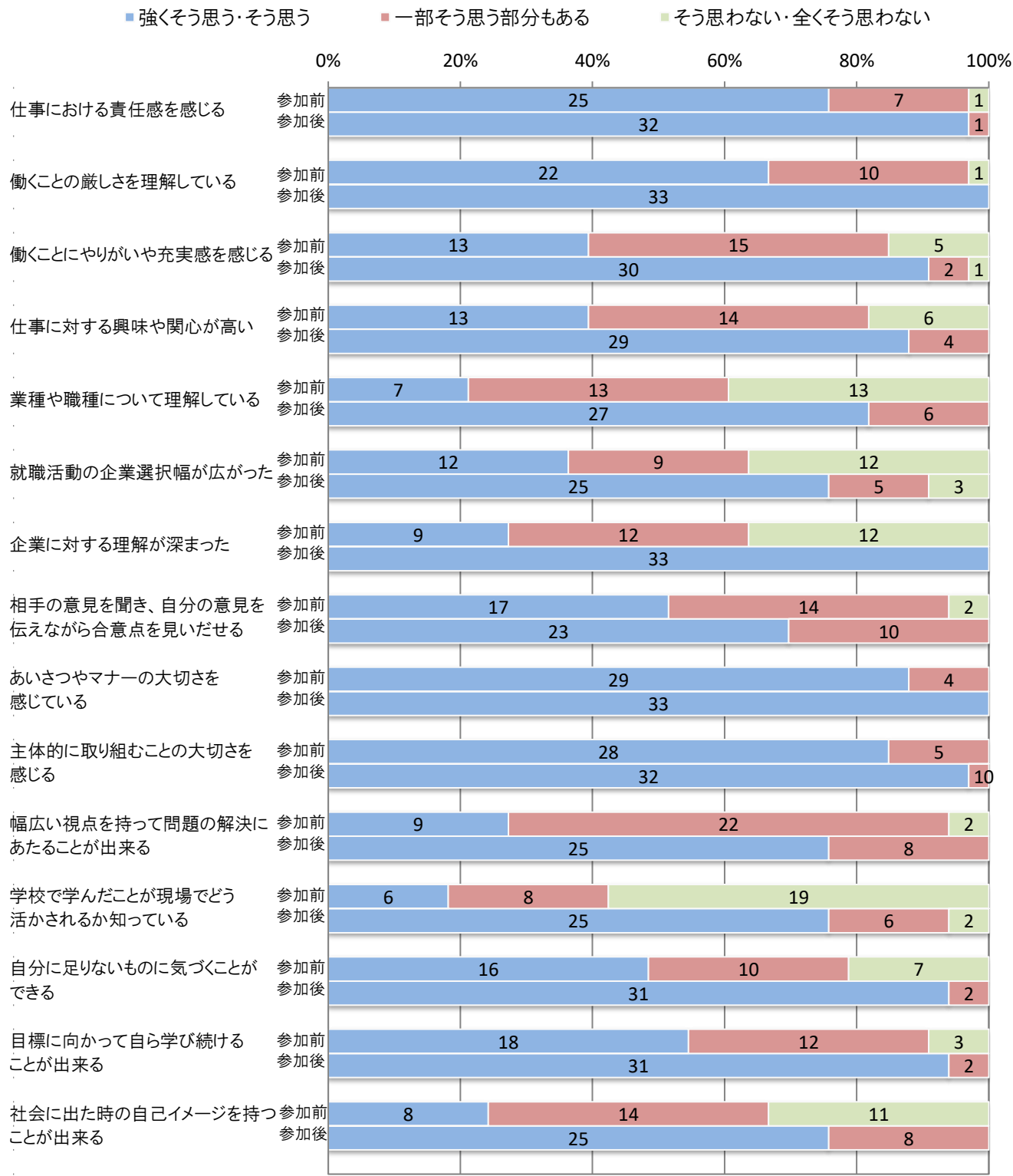
10. （問8で①フォーラムサイトで応募・参加した方に質問）
他の情報サイトではなくフォーラムを利用した理由はなんですか



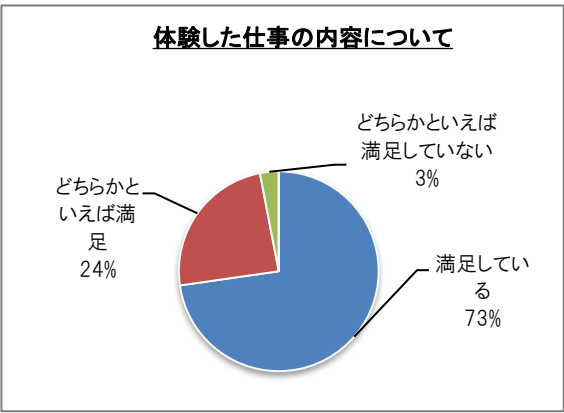
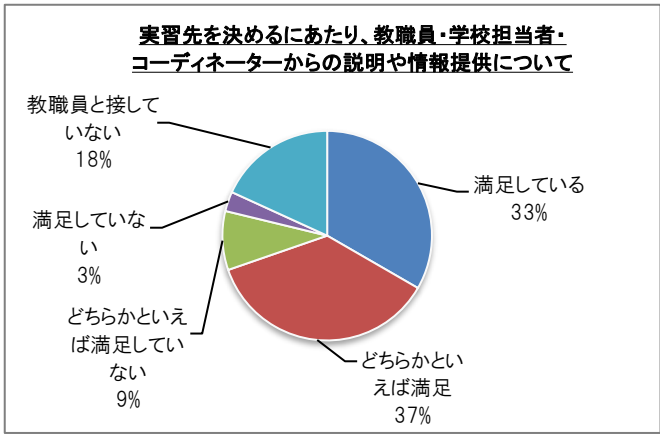
11. インターンシップ参加に向けて行った事前準備を教えてください

- | | |
|----------------------------|------|
| ・ ホームページや、会社案内等での企業情報収集・研究 | 21 件 |
| ・ 実習先企業の通勤手段の確認 | 3 件 |
| ・ ビジネスマナー等の勉強 | 11 件 |
| ・ 実習に必要なと思われる知識の復習や予習 | 14 件 |

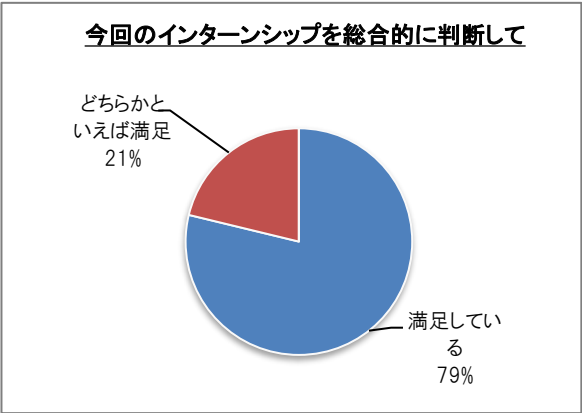
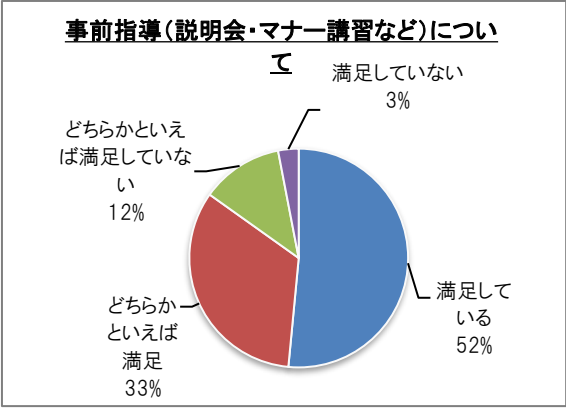
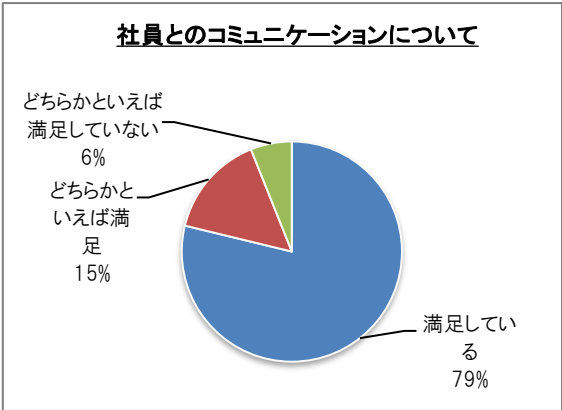
12. インターンシップ参加前と参加後の考え方の変化について教えてください



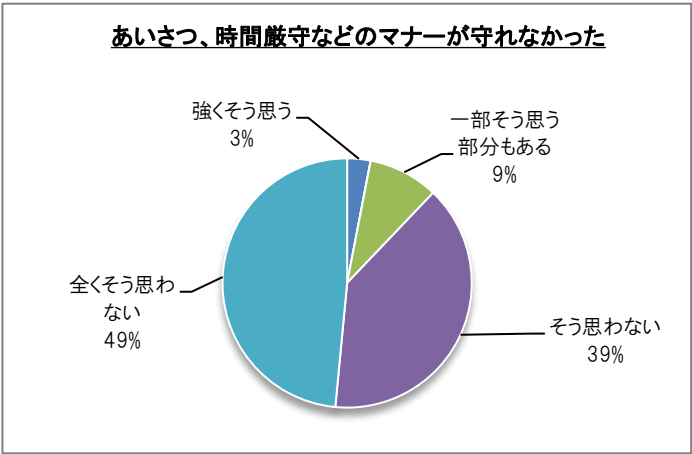
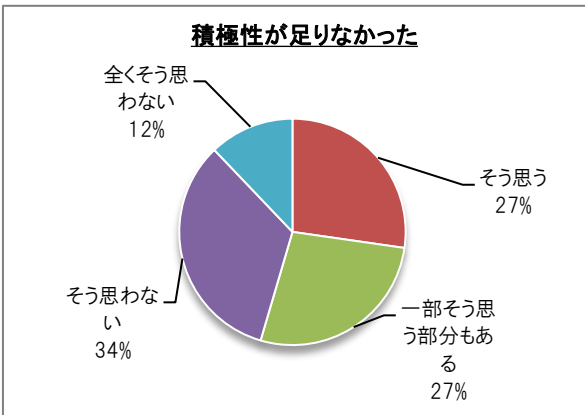
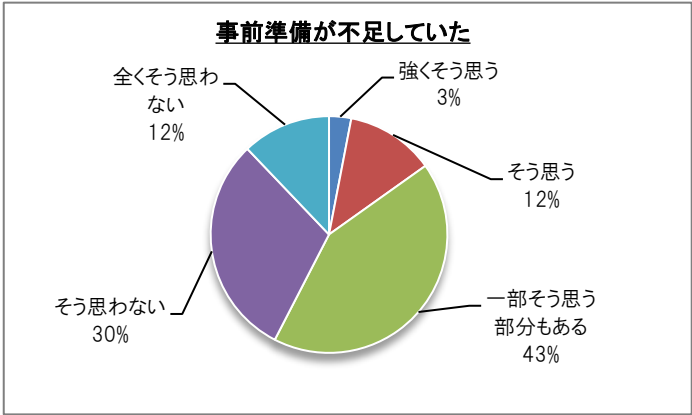
13. インターンシップ参加の満足度について、もっともあてはまるものを記入して下さい



13. インターンシップ参加の満足度について、もっともあてはまるものを一つを記入して下さい



14. インターンシップの反省点について、もっともあてはまるものを一つを記入して下さい



15. インターンシップ実習で気付いたことについて記入してください（原文のまま）

・今回、自分の専攻ではない半導体分野の企業のインターンシップに参加したが、実際に体験してみると知識の不足を感じることもあったが、前もって想像していたよりも専攻でないことによる難しさを感じることはなかった。実際に体験することで半導体試験の有用性や社会への貢献などが学べたため、仕事におけるやりがいといったものに気づけた。インターン生が自分だけだったので積極的に企業の方に質問をすることができた。
・私が通常より長い期間インターンに参加したこともあり、当初予想していた実習内容と実際に行った内容には差異があった。私が思っている以上に、自分の裁量で仕事の目標を定めることができた。これにより、MRグラスについてより深いところに踏み込んだ実習を行うことができた。大学での講義のように、模範解答が存在する課題に取り組むわけではなく、その解決策を誰かが知っているわけでもないの、自身でどれだけ情報を集めることが出来るかということは、かなりの重要なスキルであると再確認できた。
・5日間という日数では企業の仕事内容について深く知ることは難しい 昼食の時間などに社員さんに積極的に話しかけに行くことで業界のことや社員さんたちの就活の経験などを聞くことができた
・仕事をする上で必要な能力を少しでもつかむことができた
・良い点…実際にソフトやロボットに触れることができた、社員、社長さんと話げできた、自分の将来像が少しみえた 悪い点…あらかじめ質問をたくさん用意しておくべきだった
・自分のコミュニケーション能力の高さを再認識しました。社員さんと積極的にコミュニケーションを取り、社長にも多くのことを教えていただきました。そうすることで、これからの就職活動に役に立つこと知識を学ぶことができました。 そして実習先だけで完結するインターンシップではなく、これからの就職活動、また就職してからも活用できる経験を得ることができました。
・今回のインターンシップに参加して、多くの気付きを得ることができた。特に、社員の方の研究開発に対する様子を実際に目で見て、企業の開発業務や技術者の様々な仕事を理解できたと同時に、自分の知識の不足さを痛感することができた。 また、社員の方とお話しさせていただく機会も多く、礼儀やマナーについても多くの気付きを得ることができた。例えば、私は無意識に話し言葉が出てしまうことがあったので、意識せずとも、マナーを徹底することができるように改善すべき必要があると感じた。
・良かった点は、研修期間を通じて遅刻しなかったことである。社会人マナーの1つである時間厳守はこれから常に意識しておく。悪かった点は、あいさつのマナーである「語先後礼」を実践出来なかったことである。徐々に改善していく。興味をもった点は、モノづくりの過程である。私たちは普段モノという結果に見慣れているのだと考えたからである。
・私はIT企業の職場の雰囲気を知るために今回のインターンシップに参加した。実際に参加するととても落ち着いたオフィスだった。演習課題に取り組む際にデータを破損してしまい、バックアップを使用した。それにより会社での開発にはバックアップが必要なことに気づいた。
・今回、初めてインターンシップに参加させていただき、自分の足りない部分や、社会人として未熟な部分が露呈したと思う。 自分のそのような部分を自覚することができ、恥ずかしく思うと同時にインターンシップ先の企業の方々には、大変感謝している。良かったと思う点は、企業の方と話す中で、受け答えがはっきり出来たことである。自分が社会人になって、何が出来て、何が出来ないのかを考えさせられる実習であった。化学分析について興味が無かった訳ではないが、就職時に興味のある職種として加えたいと思った。
・インターンシップ3日目の実験で失敗してしまった場面があり、化学実験の危険性を再認識できたところがよかった。また、企業の方にやりがいを質問したが、自分が体験したからこそそのやりがいを感じる部分に共感できたことは、社会人を知るという意味ではとても良い学びになった。その一方で、一日中実験を行う職種であったので、将来自分がこれをしたいかと聞かれると疑問に思ったため、自分が本当にやりたいことは今はまだ見付かっていないが、専攻している分野外にあるとも思った。

▪ 一般企業で働く経験を通じ、仕事として分析を行うとはどのようなことであるかを学んだ。例えば、大学の学生実験では、多少時間がかかっても精度の高い分析を行うことが要求されるが、業務としての分析では定量下限値を下回っているかどうかなど、必要となる精度にあわせて手際よく分析を行うことが求められると知った。また、毎日8時間の勤務をこなすには体力が必要だということを身に沁みて実感した。専門知識、積極性などを身につけると共に体力づくりに励む必要性を感じた。
▪ 遠隔授業が続き、自宅にいたことが多くなったのもあり、生活リズムが乱れてることをまず、痛感した。朝早く起きて会社に行き、夕方まで頑張るということがこれほどつらいことだとは思わなかった。しかし、エコウッドという企業はなかなか興味深い企業であり、自分の就職先候補を見つけられたのはよかった。また、それについて深く掘り下げて情報を聞くことができたので、企業の情報を仕入れることに関してはほぼ成功していると思うこれまで、違う種類の組織を3種類3つ訪れたのだが、小さい企業ほど利益をガツガツ求める業務形態であることがよくわかった。
▪ 化学系の企業に就職したいとぼんやり考えていましたが、具体的な職種を絞り込むことができずにいました。しかし、この実習を通して環境分析について知ることができ、環境証明事業やそれに近い職種への興味が高まり、就職先として候補の1つになりました。また、大学で学んだことを活かすことができると感じました。以上のことより、自分の興味のある職業に対しての理解や考えを深めることができる機会であると思いました。
▪ 大学で学習している内容から少し外れている業種のインターンシップに参加することで、自身の視野を広げることができた。また、共に活動した実習参加者が積極的な人物で、参考になり、自身に足りないものがよく分かった。
▪ 今回の研修では、データから問題点の仮説を立て、現地で実際に確認を行い、対策を考えるという一連の流れを体験できた。実際に現地で調査を行うと、自分では考えもしなかったことに気づいたりでき、考え方の幅が広がった。一方、積極性に関しては、延ばすことが出来なかった。建設コンサルタントについて知ることが出来た。就職活動時の業種の選択の幅が広がった。
▪ 自分のプログラミング能力が企業でも通用するかどうか確認することができて良かった。自分よりも詳しい社員の方がいるにも関わらず、あまり聞かずに作業を行ってしまったため、もっと積極的に聞くべきだった。
▪ 実際に学校で学んでいる内容がどのように生かされているかについて目の当たりにし、より学習を興味深く取り組めると感じた。また、自分が社会人になることをイメージすることができ、考えてから行動する効率の良さといった今後の自分の目標を見つけることができました。
▪ 実習に参加する前は仕事をするということがよくわからず、少しでも雰囲気などを体感できればと思い参加したのですが、非破壊検査の作業だけでなく社会人マナーや就職活動において大切にすべきことなど、様々なことを学ぶことができた。
▪ 自分の知らない職業は世なのかに沢山あるということを知った。一日の社会人の流れなども知ることができて良かった。
▪ インターンシップ実習で気づいたことの一つとして現場での安全管理の重要性が挙げられる。現場見学では実際に現場に入る前にVRを用いた事故体験を行った。この際小さな油断が大きな事故につながるということを感じた。このことより施工管理に携わるものとして、ただ事故に気をつけるのではなく、どのような工夫をして事故を減らそうとするかが非常に大切であるということが分かった。このような安全管理に関することは大学の講義ではあまり習わないことであるので、実際に現場見学をすることで学べることであると考えられる。
▪ 良かった点として学校では企業がどんな仕事を行なっているのかを明確に学ぶことはないが実際インターンシップに参加することによって、企業がどのような仕事を行い、社会に出てどのようなことが重要になるのかを知ることができたことです。悪かった点として普段から働くことを意識していなかったため、敬語や社会的マナーが不十分な部分が多々あったことと、授業でプレゼンなどを行なっているが、社会に出てもプレゼンが重要になるということ意識していなかったため、プレゼンが思うように伝わってなかったり、時間が短かったりしたことです。興味を持った点は、今回事務作業の多い部署を体験したので、実際お客様と接する営業などはどのような仕事をしているのか知りたい。
▪ 企業の雰囲気はさまざまであると感じた。想像していた雰囲気は一つの課題に対して、何人かで話し合いながら取り組んでいる感じだったが、実際は、静かで、たまに話し合い行われる程度だった。これは、今回参加した企業の従業員が少ないのと、この業種故にこうなっていると考えたので、他の企業のインターンシップにも参加してみたい。
▪ 自分が思い描いていた仕事とは違う仕事にも、多くの魅力があることに気づきました。社会に出た時のマナーなど、多くのことを吸収できたと思います。

・ インターンシップ実習を通して、社会人としてのマナーや知識を学ぶことができた。 さらに、実際に社員と同じような業務を体験することで働くことの責任の大きさややりがいを知ることができ、良かった。 悪かった点は、交通費が支給されなかったため出費が大きかったことである。これまでに興味のなかった部署の仕事に興味がわいた。
・ 自分自身が興味のある分野の具体的な仕事内容について、実際に体験することができた。 1Dayのインターンシップではなく、長期のインターンシップだからこそ気づくことができた内容や体験できた内容(実際に現場へ行き、作業内容を見学するなど)があった。 先輩社員の方と仕事内容だけでなく、学生時代のことや就職活動に関すること、実際に取得した資格の勉強方法などについての話を聞くことができた。
・ 社員の方々に直接お話ができるととてもいい機会なので、自分から積極的に話しかけたり、質問をたくさんするべきだと思った。また、一緒にインターンシップに参加している人たちもそれぞれ参加した理由が違ったり、学校で学んでいることが様々だったりするので、他の実習生との交流も大切にしたい方が良かったと思った。
・ 実際の仕事は想像と同じではありません。面白いです。
・ 工場での安全管理の徹底。一見難しそうな装置に見えても、学校で学んだようなことが応用されている。現場の雰囲気の良い。現場の方は、一人一人が幅広い分野を担当するというよりも、それぞれが非常にニッチな部分を担当されていた。
・ 普段自分が全く勉強していない分野の職種だったので、覚えることが沢山で思ったよりも大変だった。普段からメモを取るようになっていたので、担当さんからの指導やアドバイスはきちんと聞けたし実行も出来たと思う。また、お客様と触れ合う機会があったのですが、緊張に負けず積極的に動けたのは良かったと思う。1つだけ心残りなのが、最終課題を作成した時にあまり時間が無く、自分のセンスや力を最大限出せなかった所で、もう少し時間があればもっといい映像が作れたのではないかなと思う。
・ 勉強している分野（化学）を実際に使用がよく理解でき、実際の工場で体験できた。本企業の工場工程に興味があって、エコウッドという商品の特徴にも気づいた。
・ まず、マナーに関してはその人の印象を決める重要な項目なので、常に意識すべきだと思いました。また、人とのコミュニケーションを積極的に交わすことで作業場のミスを事前に防ぐことができると思いました。安全に関しての学習をしましたが、私が今まで習ってきた内容に加えて新しい知識も身につけることができました。現場視察では作業現場でしか感じるような作業上の危険について実感することができました。自分に足りないもの、改善すべきことに関して認識し、実行していく貴重な経験をすることができました。
・ 良かった点は、自分が全く知らない分野であったが、非常に興味関心を持つことができ、総合的に見れば、今の自分が学んでいる内容と関連付ける部分もあると気づくことができた。今回のインターンシップ先では、作業に使う機械、物の計測という観点から労働者の安全を未然に防ぐことがメインの企業であった。自分の今学んでいる内容と今回学んだことが、どのような形で関連付けることができるのかという点について興味を持った。

16. 実習での感想、後輩へのメッセージ等 (原文のまま)

・実習を通して、実際に大学で学んでいることがどのような形で仕事に活かされているかが理解できた。大学の専攻分野と異なる分野で活躍している方も少なくないことがわかったので自身の専攻分野だけに絞らずに就職活動をしていきたいと思った。
・実習を行う前に、事前学習を行うことは限られた実習期間の中で最大限の事柄を身に着けるためにも必要なことであると感じられた。実習で取り扱う分野についての本などを読んでおくといいたいだろう。私の場合は、日本ではまだ盛んでないMRという分野についての実習であったため、実習期間中に海外の文献を読み漁ることになった。英語をある程度扱うことができることも、円滑に実習を行うために必要なスキルかもしれない。
・短期のインターンシップの場合は作業内容をきっちりこなすことよりも、社員さんたちに自分が気になっていることを質問することの方が大切。
・自分が就きたい職種の職場の雰囲気などインターンシップに行かなければ知ることのできないことを知ることができた。
・北九州の学生で、夏休み暇な人やインターンシップに少しでも興味があるけど、どこに行ったら良いかわからない人は、北九州内の豊富な業種の企業から、きっと興味のある企業が必ずあると思うので、ぜひ参加することをおすすめします。
・実習では積極的にコミュニケーションを取り、多くのことを質問し、学ばせていただきました。非常に有意義な時間を過ごすことができ、満足しています。後輩の皆さんには実習先では、社員さんとのコミュニケーションを積極的にとることを強くおすすめします。社員さんと話し、質問することで現場で直接聞くことでしか得られない知識を学ぶことができるからです。そのときに注意すべきことが3つあります。1つは質問をする時のTP0です。2つ目は、質問するために事前知識を得ておくこと。最後に3つ目は、具体的な質問をすることです。
・今回のインターンシップでは、ツールを用いたシミュレーションの学習や、クリーンルームにおけるセンサ試作など大学では経験できないことを沢山経験させて頂くことができた。社員の方が温かく指導して下さいお陰で、大学では学べないことを吸収することができ、今後の自分のモチベーションの向上に繋がった。また、就職活動の際に参考になるようなことも教えて頂き、自身の視野が広がるきっかけとなった。この学部3年という時にこのインターンに参加できたことは私にとって貴重な財産となったと思う。
・実習内容の一部が大学で学んでいる科目と似ていることもあり、理解しやすくとても取組やすい内容であった。現在大学で学んでいる知識が実際に現場で活用されていることにとっても感動し、大学生活における学びを大切にしようと考えようになった。後輩に伝えたいことは、大学で学んでいること全てが役に立つとは申し上げにくいですが、一部はどこかで役に立つということである。残りの大学生活を有意義に過ごしてほしい。
・今回のインターンで会社のオフィスの雰囲気や社会人の生活などを体験することができた。開催場所が北九州内だったので気軽に参加でき、インターン自体の雰囲気も知ることができ他のインターンにも参加してみようという気になった。
・インターンは、その企業の雰囲気や、実際の業務を見たり体験させてもらうものだと思っていた。しかし、それだけではなく、自分の足りない部分や、未熟な部分を自覚することが出来た。就職前にこのような経験が出来て本当に良かったと思う。また、実習後は自分を見つめ直す良い機会だった。インターン先の方々は、就職を経験した方なので、具体的な経験談を聞くことが出来た。就職時に、どのような職種で、どのような企業が良いか判断しやすくなった。また、自分にとっての企業の判断事項を考え直すきっかけとなったと思う。
・当然のことなのだが、働くのは疲れる。ということをもっと感じた。定時で帰らせてもらったが、インターンシップ期間中は帰ってすぐに寝る、といった習慣になっていた。外に出る時間はあるのだが、元気がなかった。社会人の方は「大学生の内に遊んでおいた方がいい」とよくおっしゃるが本当にその通りだと思った。また、今自分が学んでいることが実際社会にどのように役立っているのか、あまりイメージのない人が多いと思う。それを理解できるのがインターンシップの大きな醍醐味の一つだと感じた。自分の専攻分野の社会の必要性を知ること、今後の講義のモチベーションも変わると思うため、是非参加してもほしい。
・インターンシップを経て、企業で働くことへのイメージを持つことが出来た。参加を迷っているなら、まずは地元北九州でのインターンシップに参加することをお勧めする。

大学に入って、高校よりも自由度が高い暮らしを送っている学生がほとんどだと思うが、インターンシップで一番きついのは、朝早くに家を出て、ある場所で拘束され、夕方まで頑張るというものがいかに大変かを思い知ることだろう。インターンといい、仕事といい、受験といい、就活といい、技量や頭の良さも大事だが、最終的に生き残るのは誰よりも体力のある者だと感じた。やる気や根気のある者がやっぱり強い。そのド根性を、インターンでもう一度思い出さだろうから、ぜひ参加してほしい。
実習先の社員の方々が優しくして下さり、楽しいインターンシップでした。体験させていただいた実習は大学の化学実験に近い内容が多く、抽出や滴定なども行いました。学校で習ったことが活かせる企業だと感じたので、分析に興味のある方は向いていると思います。また、危険物取扱の資格を持ったインターンシップ生が多くいました。企業も資格の取得に力を入れているようでした。立ち仕事なので慣れていないと足はつらいかもしれないので注意してください。
インターンシップは単純に課題実習に取り組むだけではなく、社交性や計画性が試される場所でもあった。仕事を行うためには、その業種に必要な知識や技術だけではなく、他の社員や取引先の方々と付き合いも重要だと実感でき、年代、趣味趣向が異なる多くの人と会話し、刺激を受けることができるインターンシップは、自分の視野を広げ、成長することが出来る良い機会だった。
私は、専攻している分野と全く違う職種のインターンシップに参加したため、その産業をよく知ることが出来た。就職する方向性をまだ決めかねている場合には、違う産業に踏み込んでみるのもよいと思う。自分の視野を広げられるため、とてもおすすめである。
プログラミングに興味を持っているので、好きなアプリケーションを自分で一から作る本実習はとても満足した。事前に作りたいアプリケーションを考えていると、実習をスムーズに始められると思います。
インターンシップに参加する前は、不安が大きくネガティブな感情ばかりが浮かんでいたのですが、実際に参加してみると、企業への理解はもちろん自分を見つめ直すこともでき非常に非常に良かったです。
インターンシップは何かしら必ず学ぶことがあるので絶対に参加しておいたほうがよいと思いました。
企業の方も優しく、接しやすい方ばかりだった。私たちの質問にも全て正直に答えてくださり、多くのことを知ることが出来た。座学や実技、工場見学など盛りだくさんな内容で、インターンシップを通して沢山のことを学びながら楽しむことが出来た。
今回の実習での一番の感想として、非常に社員の方とコミュニケーションがとりやすいといったことが挙げられる。北九州地域産業人材育成フォーラムに紹介されている企業のインターンシップは比較的募集人数が少ないため、そんな他のインターンシップに比べて社員の方に質問しやすかった。また実習期間も1週間程度のもので多く、かつ実習内容も充実しているため仕事内容に対する理解や働くことに対する理解が得やすかった。よって仕事内容や仕事のやりがいなどについて学びたいと考えている学生にとっては非常に有意義なインターンシップになると考えられる。
インターンシップ研修に行くことは、大学では学ばない企業の仕事を体験したり、社会人にとって何が重要であるかを直接学ぶことができる貴重で有意義なものであると感じています。そのため、多くの人のより多くのインターンシップに参加してもらいたいと考えている。また、私は、インターンシップ研修に参加することで社会に出て働くことが楽しみであると感じるように考えが変化しました。社会に出て仕事をすることにあまり関心もなく意欲もなかったが、実際仕事内容の一部を行うことで社会に出て仕事を行うことは楽しいかもしれないと思うようになった。インターンシップに参加をして、とても良かったと思う。
参加前は、この業種の仕事内容や雰囲気をおまわり想像できず、将来不安に感じていたが、それを今回味わうことができて良かった。また、自分はやろうとしていなかった、アプリ開発を実際に体験してみて、アプリ開発に興味があった。
職場を自分の目で見て肌で感じることで、数年後に自分がどうなりたいかのイメージが湧くと思います。ホームページだけでは分からない、会社の雰囲気や社員の方々の人柄も知ることができます。一週間程の期間がある場合は、しっかりと事前準備をしておくことをおすすめします。
自分の興味がある業種の企業でインターンシップ実習をできることが自分にとって将来を改めて考える良い機会になった。色々な課題をこなしていく中で、自分自信の成長や未熟なところ、改善が必要など、自分の知らなかった自分に気づくことができた。将来へのステップアップを図る上でインターンシップ実習は必要不可欠だと強く感じた。是非積極的に参加してほしい。

▪ 今回の10日間のインターンシップは自分自身にとって多くの経験ができたものとなりました。1Dayなどの短いインターンシップでは時間の関係上からできることが限られてきますが、今回のような長期的なインターンシップの場合、できる範囲が非常に広くなり、実際に5日間の人ではいけなかった現場での作業を見学することができました。また、自分自身が興味のある分野について学べたため、より興味を持つようになりました。
▪ 会社のホームページだけでは知れないことを知れたり、現場を実際目で見ることができたりし、コロナで大変なご時世の中、対面の実習に参加させていただけて嬉しい限りです。企業のことを詳しく知るにはオンラインよりも対面での実習が絶対良いと思います。最終日には社長をはじめとする約10名の社員の方々に向けて実習成果報告発表会をさせていただきました。とても緊張しましたが、自分の考えをしっかりと伝えられるとても貴重な経験になりました。日程変更や内容変更があり、少々不安な点もありましたが、5日間とても充実しており楽しかったです。
▪ 経験を向上させることができます。
▪ 5日間とても充実し、自分のためになる理想的なインターンシップでした。企業のホームページでは知ることができない現場ならではの雰囲気や、現場の人の声、モノ作りをするときの心構えなどたくさん感じることができました。今回、インターンシップの参加は初めてだったのですが、これからも積極的に参加して企業への理解を深めたいと思います。
▪ 初めてインターンに行きましたが、外からは分からない社員の皆様の仕事ぶりや気遣いを感じられ、とてもいい経験になりました。私の実習先は実際に社員さんと顔を合わせるといのは少なかったですが、その分リモートでミーティングや意見交換をする機会が多く、自分の作品に対して数々のアドバイスを頂けました。コロナ禍で授業中の話し合い等が出来なかったのも、とても良い機会でした。もちろん、いい事だけではなく体力を必要とする時もあったのですが、実習して良かったなと思える体験が出来ました。
▪ 目的に対応して、よく結果を果たしました。自分の弱点と特徴をわかってきたからこそ、次の目標とやりたいことをイメージできになりました。実際の就職は学校と違って、体験しなければよく理解できないから、ぜひ少なくとも社会人になる前にインターンシップに参加してください。本当のイメージを作って準備しておきましょう。
▪ 私が大学で習っている内容は専門的な知識がほとんどなので、インターンシップでその知識が活かせる企業はあるのかと疑問に思っていたのですが、今回はとても充実したインターンシップを行うことができて良かったです。インターンシップ先の企業の人たちからは、私の大学からの生徒は初めての事だと伺ったので、私と同じ学科の後輩にも薦めていこうと思っています。
▪ 実習内容は、一見難しそうに感じる内容であったが、概要説明や高校生で学ぶ内容をしっかり理解していれば非常に興味を持てる内容であった。また企業様の丁寧な説明、アドバイスもあったので、とても充実したインターンシップ期間であった。